

学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2019年度）集計結果 フランス語フランス文学科

回収結果

学部	文学部				人間総合学部				合計
学科	国語国文	フ語フ文	英語英文	学部計	児童文化※	発達心理※	初等教育	学部計	
回答数	92	115	99	306	65	53	72	190	496
卒業生数	95	117	106	318	65	54	72	191	509
回答割合	96.8%	98.3%	93.4%	96.2%	100.0%	98.1%	100.0%	99.5%	97.4%

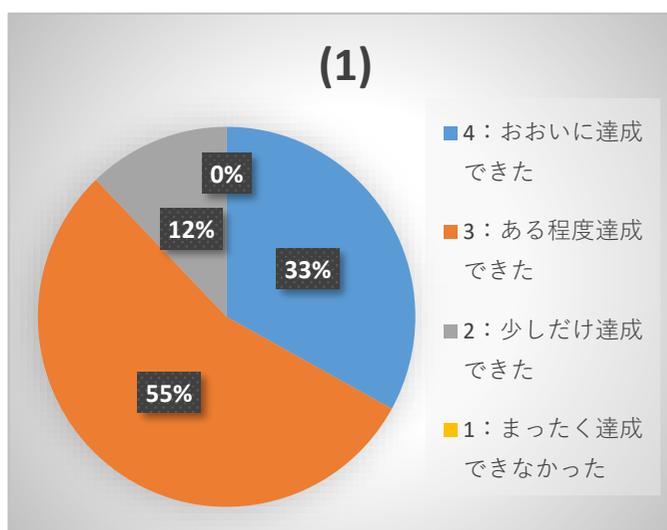
※文学部児童文化学科卒業生1名を含む

卒業生数には2019年9月卒業生、2020年3月卒業生を含む

（1）時代を超えて普遍的に求められる豊かな人格形成をおこなうために、カトリックの人間観・世界観を理解するための基礎的な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	38
3：ある程度達成できた	63
2：少しだけ達成できた	14
1：まったく達成できなかった	0

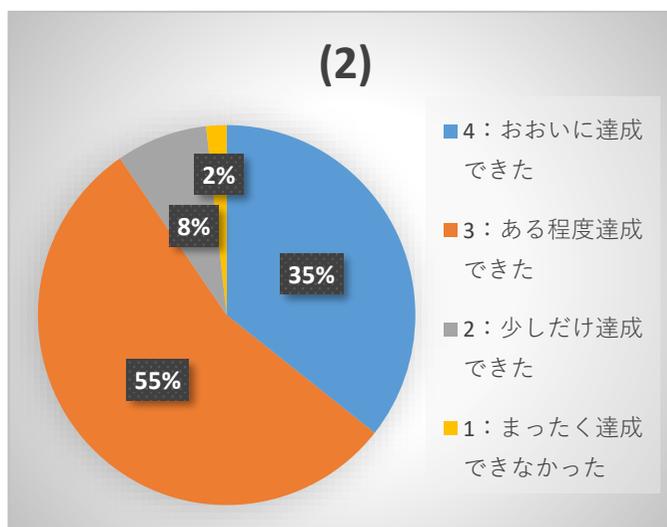
115



（2）時代を超えて普遍的に求められる深い教養と知性、自己を発見する心を持つ自立した女性になるための基礎的な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	41
3：ある程度達成できた	63
2：少しだけ達成できた	9
1：まったく達成できなかった	2

115

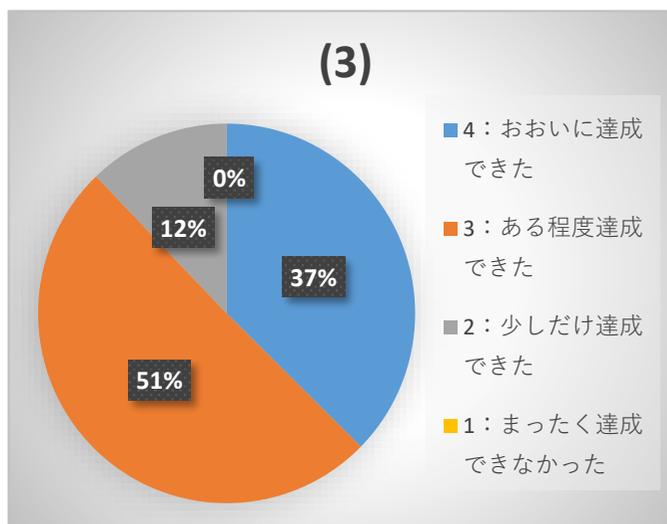


学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2019年度）集計結果 フランス語フランス文学科

(3) 現代社会に求められる外国語学習を通じ、異文化への深い理解のために必要な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	43
3：ある程度達成できた	58
2：少しだけ達成できた	14
1：まったく達成できなかった	0

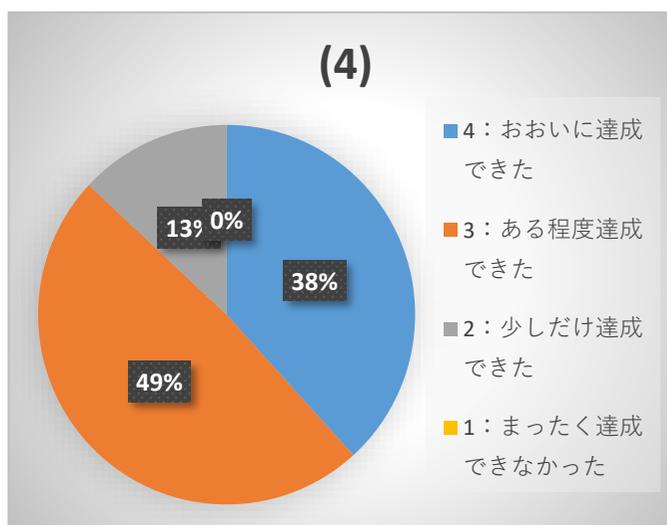
115



(4) 専攻する言語と文学、文化に関して、専門的な知見と技能を身につけている。

4：おおいに達成できた	44
3：ある程度達成できた	56
2：少しだけ達成できた	15
1：まったく達成できなかった	0

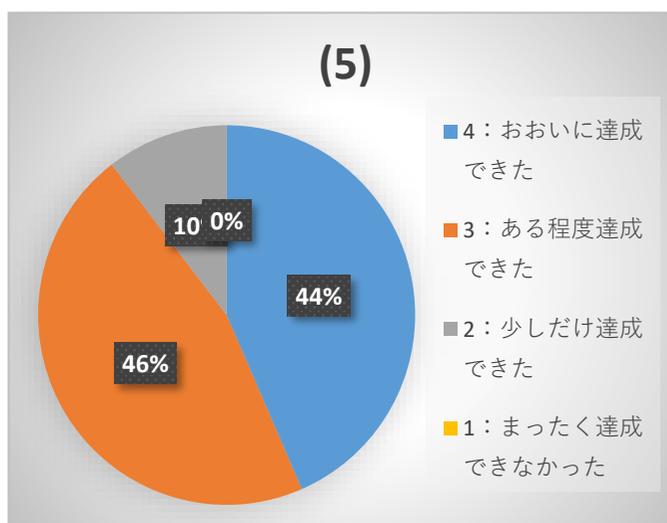
115



(5) 専攻する言語や文学、文化について、特定の問題を掘り下げ、自ら調査、研究して考えをまとめることができる。

4：おおいに達成できた	50
3：ある程度達成できた	53
2：少しだけ達成できた	12
1：まったく達成できなかった	0

115

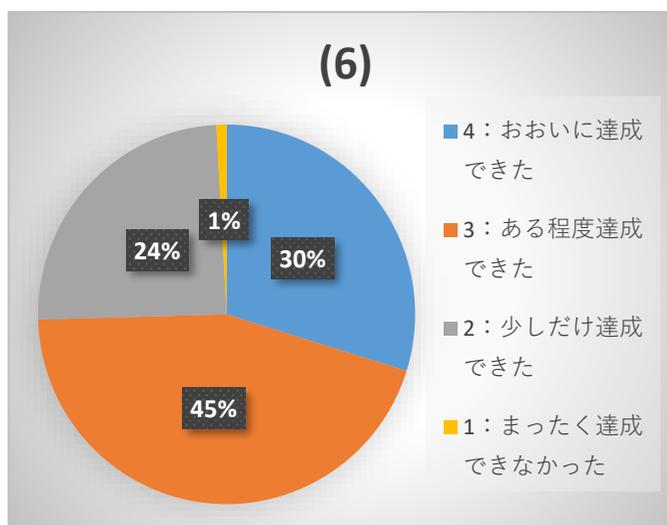


学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2019年度）集計結果 フランス語フランス文学科

(6) 専攻する言語について、高度なコミュニケーション能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	34
3：ある程度達成できた	51
2：少しだけ達成できた	28
1：まったく達成できなかった	1

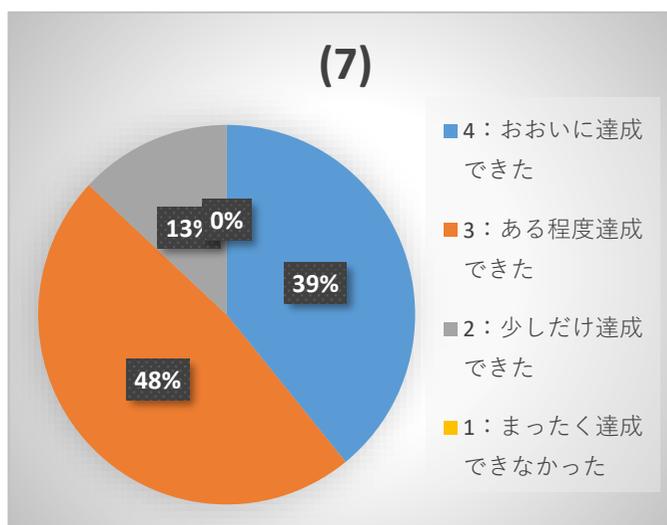
114



(7) 異文化と自文化とを見渡す豊かな教養をもとに、多様な人々と協働し、対話する能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	45
3：ある程度達成できた	55
2：少しだけ達成できた	15
1：まったく達成できなかった	0

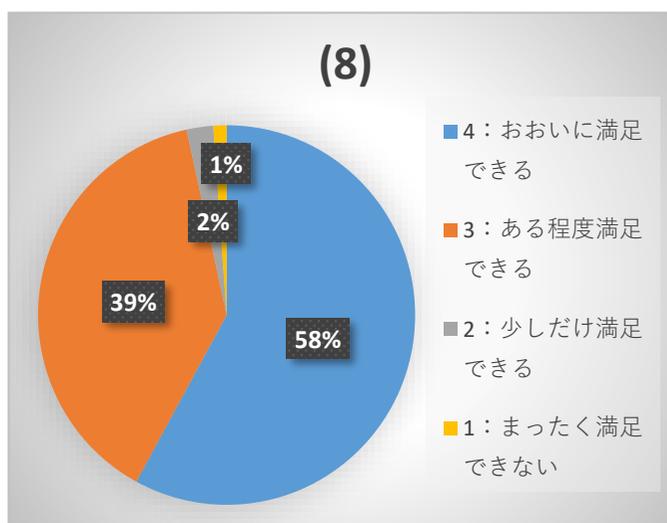
115



(8) 大学4年間の学修を通じて、あなたは満足のいく成果をあげたと感じますか。

4：おおいに満足できる	51
3：ある程度満足できる	34
2：少しだけ満足できる	2
1：まったく満足できない	1

88

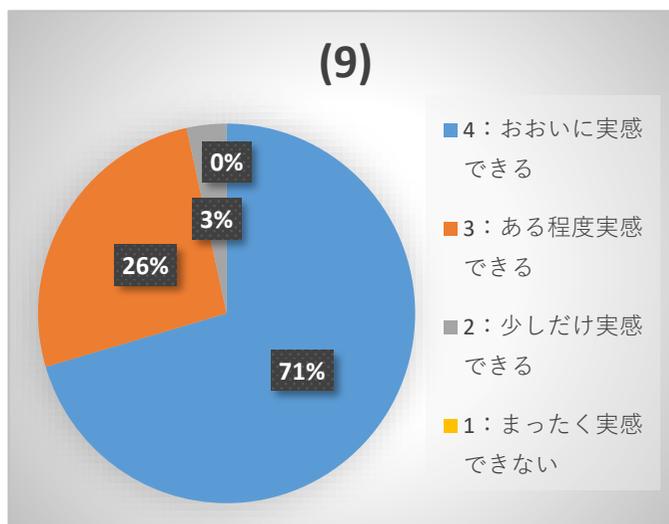


学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2019年度）集計結果 フランス語フランス文学科

(9) 大学4年間の学修を通じて、あなたは自分が成長したと実感しますか。

4：おおいに実感できる	62
3：ある程度実感できる	23
2：少しだけ実感できる	3
1：まったく実感できない	0

88



2019年度卒業時アンケートに関する考察（フランス語フランス文学科）

文学部フランス語フランス文学科の卒業時アンケートの全体的な傾向として、「4おおいに達成できた」「3ある程度達成できた」をあわせた肯定的な回答が、どの設問についても75%以上を超えたことが挙げられる。とくに設問（8）、（9）が示すとおり、大学4年間の学修に対する総合的な満足度については、97%の卒業生が「おおいに満足」、「ある程度満足」できる成果をあげたと回答した。卒業生はフランス語フランス文学科での4年間の学びに満足していることが読み取れる。

外国語学習や異文化への理解といった専門的知識に関する設問（3）、（4）について、87%の学生が「おおいに達成できた」「ある程度達成できた」と回答していることに加えて、（7）「多様な人々と協働し、対話」しながら、「特定の問題を掘り下げ、自ら調査、研究して考えをまとめることができる」という設問（5）については、90%の卒業生が「おおいに達成できた」「ある程度達成できた」と評価していることは特筆すべきだろう。カリキュラムポリシーに記載されているとおり、フランス語フランス文学科では、1年次に少人数制の語学クラスで基礎をかため、2年次以降は発展的な外国語学習と並行しながら、関心のある領域についての専門的知識の獲得を目指し、学修の順次性に配慮した教育課程の編成を行っている。卒業生アンケート結果から、カリキュラムポリシーに基づくフランス語フランス文学科の教育内容が十分な成果をあげていると言える。